

8 月 18 日に行いましたプランクトン調査（播磨灘）の結果についてお知らせします。

## 【概況】

- ・魚毒性を示す有害プランクトン、カレニア・ミキモイ、コクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。
- ・カレニア・ミキモイは前回調査（8/15）よりも減少していますが、播磨灘の広い範囲で確認されていますので今後の情報にご注意ください。

表：2022 年 8 月 18 日 有害プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・ アンティカ	シャットネラ・ マリーナ	シャットネラ・ オバータ	シャットネラ 3 種合計値	カレニア・ ミキモイ	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	シュードシャットネ ラ・ベルキュローサ	シャットネラ・ グロボーサ
虻崎	0	0	0	0	0	1.3	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
千振	0	0	0	0	0	0	6.0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
妙見	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
K1	0	0	0	0	0	0	5.3	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	4.0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K2	0	0	0.3	0	0.3	4.7	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	18.7	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	1.0	0	0	0
K3	0	0	0	0	0	24.7	4.7	0	0
	5	0	0	0	0	7.7	0	0	0
	10	0	0	0	0	0.7	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	16.7	7.3	0	0
	10	0	0.3	0	0.3	12.0	2.0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K5	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
K7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	B-1	0	0	0	0	0	0	0	0
SH	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0
観音崎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10	0	0	0	0	0	0	0	0

\* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています（ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です）。

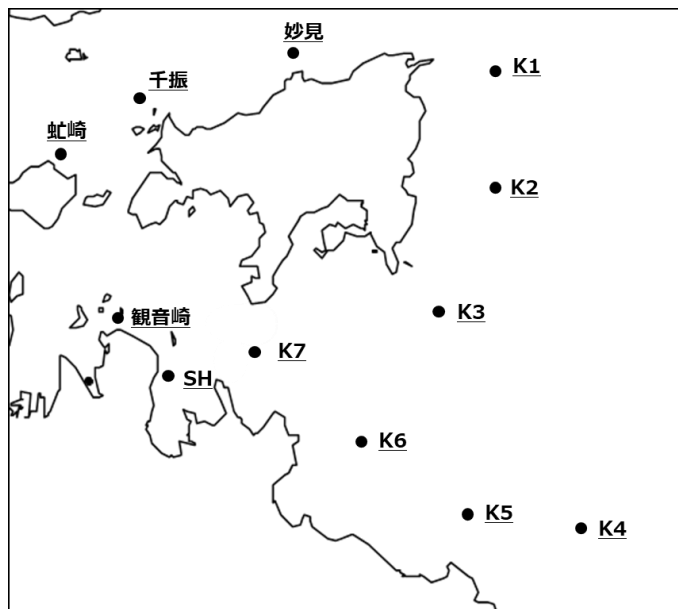
【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471

(別紙)

図：調査定点（播磨灘：赤潮対策技術開発試験事業）



\* 夏季の有害プランクトン調査は、通常は7定点(K1~7)で行っています。

有害種の発生が見られる場合には、5定点(虹崎、千振、妙見、SH、観音崎)を追加しています(臨時調査定点)。

【参考】香川県の有害・有毒プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3種の合計値)	10 細胞/mL (3種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・タマレンセ	-	5 細胞/mL
旧アレキサンドリウム・カテネラ	-	50 細胞/mL